

COMMUNITY EDUCATION FOR PRESERVING ENVIRONMENT

Aizu-Bange Town has been putting its efforts behind the preservation of natural environment and cultural assets in and around the town.

But the key to success largely depends upon those who live in the area, upon individuals who recognize the importance of nature and their own culture. The town is now making environment education programs for school and social education, as well as constructing facilities for life-long education activities.

温かい心をもった 人づくり

人こそが福祉社会を支える基本的な力である。高齢化社会の到来、家庭の核家族化の進行など、社会経済活動の変化に伴う諸問題を町民ひとりひとりが共通の課題として受け止め、今まで培われてきた人と人とのつながりを今後とも維持、発展させてゆくことが、定住社会を支える原動力となる。すべての町民が「温かい心」をもって支えあい、ふれあえる住みよい町づくりを進めてゆかなければならない。

健康で温かみのある人間関係を維持するためには、地域独自の人材育成システムを確立し、子供から大人まで幅広く学び集える生涯学習社会を築いていくことが必要である。会津坂下町ではそのような認識の上に立って、町の明日を担う人材づくりに向けた施策を展開している。

ひとつは郷土文化の基盤づくりを積極的に推進すること。

これは会津坂下町がもつ貴重な文化財や自然風土は郷土の誇るべき共有の財産であるという認識に立って、保全し伝承してゆこうという気運を高めようというものである。このように郷土を愛する心を育てながら、合わせて国際的な市民交流の和を広げてゆくための拠点づくりも進めてゆく。

加えて学校教育、社会教育の充実を図り、町の明日を担う人材づくりに努めるとともに、すべての町民が生涯にわたり自主的に学習できるような学習機会、いわゆる生涯学習機会



の創出にとりくんでいる。このように郷土への認識を高めること、国際交流や生涯にわたって学ぶことを知ることは、必然的に人と人との出会いを喚起し、親しい人間関係を作ることにつながり、それが地域にとっても大きな財産となる。そこで培われた「温かい心」が、町民が安心して暮らせる福祉社会の創出にもつながるのである。

郷土の明日を担う人材の健全な育成と、 生涯にわたって学び集える学習機会の創出。

【カスミ草】

清楚なその姿に親しみをおぼえるカスミ草。付加価値の高い需要創造型農業として、熱い期待を集めている。